

塙口教会建築資金援助の爲め

# クラブ ファンタジーの夕

7月6日(月)  
午後7時  
神戸国際会館

主催 神戸女学院同窓会 クラブ ファンタジー



## 三井生命大阪支社

大阪市東区高麗橋 2-1 三越北隣  
電話 北浜 23 1151 ~ 1152

目下社員採用中です卒業生の方で希望の方は上記へ  
御連絡下さい。

勉強するみなさまの

神戸銀行  
信託兼営

神 戸 銀 行

本店 神戸市生田区浪花町五十六番地  
支店 東京・横浜・名古屋・京都・大阪・岡山・広島・福岡  
海外 在員事務所 ロンドン・ニューヨーク



畠 きみ子

神戸女学院音楽部声楽科本科並びに研究科卒業  
野崎住子教授、福沢アクリビ教授に師事、現在神  
戸女学院大学音楽学部、声楽科講師を勤め、ラジ  
オステージ等に活躍している。

伴奏者

豊田寿子

神戸女学院大学  
音楽学部ピアノ科  
助教授



塚本保子

神戸女学院音楽部ピアノ科本科並びに研究科卒業。  
フツエフ教授、原智恵子教授に師事、現在神  
戸女学院大学音楽学部ピアノ科講師を勤め、ラジ  
オ、テレビ、ステージ等に活躍中である。

## ごあいさつ

私達の教会は阪急塚口駅より5分の地域にあり、学校、工場、病院、住宅等密集し教会  
存在の使命を痛感致して居ります。

教員は日々増加し、礼拝堂が狭溢を告げ、教会学校も亦生徒を收容し切れず半分は公  
会堂を借りて教育致して居り、非常な不便を感じて居ります。今年は教会十周年を記念し  
て新会堂を建設する事を決議致しました。

此の際クラブ・ファンタジーが資金援助の為音楽会を開催して下さいます事は感謝に堪  
えない次第でございます。

日本キリスト教団

塚口教会



# P r o g r a m

## I Piano Solo

Sonata G Minor

First Movement allegro

Second Movement andantino

Third Movement Scherzo

Fourth Movement Rondo

Yasuko Tsukamoto

Schumann

## II Soprano Solo

Six Children's Songs

Kimiko Hata

Acc. Hisako Toyoda  
yoshinao Nakata.

## III Piano Solo

a. Reflets dans l'eau

Debussy

b. Ce qu'a vu le veut L'Ouest

"

c. Les Collines D'Anacapri

"

Yasuko Tsukamoto

## I n t e r m i s s i o n

## IV Soprano Solo

Kimiko Hata

a. Minnelied

Brahms

b. Der Schmied

"

c. Als die al alte Mutter

Dvorák

d. Warum ?

Tchaikovskye.

e. War ich nicht ein Halm aut frischem Wiesengrund ?

"

## V Soprano Solo

Kimiko Hata

a. "In quelle trime morbide" from Manon Lescaut

Puccini

b. "Vissi d'arte e d'amor" from Tosca

"

c. "Ritorna vincitor" from Aida

Verdi

## VI Piano Solo

Yasuko Tsukamoto

a. Etude Op. 10, No. 3

Chopin

b. Valse Brillante Op. 34 No. 1

"

c. Valse Op. 64 No. 1

"

b. Nocturne Op. 15 No. 2

"

e. Scherzo Op. 31 No. 2

"

LADIES' SHOP



MEN'S SHOP

婦人服飾

セリザワ

紳士服飾

セリザワ

神戸大丸前 • TEL 3-1695

神戸大丸前 • TEL 3-3900

# プログラム

## I ピアノ独奏

ソナタト短調 作品22の2

第1楽章 アレグロ

第2楽章 アンダンティーノ

第3楽章 スケルッオ

第4楽章 ロンド

塚本保子

シューマン

## II ソプラノ独唱

六つの子供の歌

畠 きみ子

伴奏 豊田 寿子

中田喜直

## III ピアノ独奏

a. 水の反映

b. 西風の見たもの

c. アナカヅリの丘

塚本保子

ドビッシー

ク

ク

——休憩——

## IV ソプラノ独唱

a. 愛の歌

b. 鍛冶屋

c. 母の教え給いし歌

d. などて

e. 強いられし花嫁

畠 きみ子

ブルームス

ク

ドボールザーク

チャイコウスキイ

ク

## V ソプラノ独唱

a. マノンレスコより“このやわらかなレースの中で”

プッチーニ

ク

b. トスカより“歌に生き恋に生き”

ヴェルディ

ク

c. アイーダより“勝ちて帰れ”

## VI ピアノ独奏

a. 練習曲 作品10の3

塚本保子

ク

b. 華麗なるワルツ 作品34の1

ク

c. ワルツ 作品64の1

ク

d. ノクターン 作品15の2

ク

e. スケルツオ 作品31の2

ク

目には目

口ほどに物を言わせて

互に合点、足もこころ

もシンクロナイズ

三宮へ、元町へ

二人で歩けば落ちつ

く先が

決まってコトブキ

壽本舗  
御菓子・喫茶  
三宮・元町

# 解 説

ロバート・シューマン (1810—1856)

## I ソナタト短調 作品22の2

シューマンはこの曲を1833年に書き始めたが完成したのは1835年であった。作品は当時ライプニッツの豪商の夫人で、高い芸術的教養に富む、ハインリッテ、ギヒトに捧げられた。内省的なロマンティシズムに溢れた曲である。構成的に注目すべき点は、各楽章のテーマが一種の循環形をなして曲全体を統一していることである。

第一楽章は急速な $\frac{3}{4}$ 拍子のソナタ形式、

第二楽章はゆるやかな $\frac{3}{4}$ 拍子の三部歌謡形式、その中間部は美しい変奏曲となっている。

第三楽章は $\frac{3}{4}$ 拍子のスケルツォ、簡潔なきびきびした中にも抒情的な歌が流れている。

第四楽章は $\frac{3}{4}$ 拍子。自由なロンド形式の最も華やかな部分で、特に終りに近づくにつれて、テンポは早まり、まるで多彩な音の波が激しく打よせるように終結へと導いて行く。

## II 六つの子供の歌 中田 喜直 曲

この一連の歌曲は1943年に作曲されたもので六人の詩人による六つの子供の歌、即ち

1. うばぐるま (西条八十)、
2. 鳥 (小川未明)、
3. 風の子供 (竹久夢二)、
4. たあんきぼーんき (山村暮鳥)、
5. ねむの木 (野口雨情)、
6. おやすみ (三木露風) からなっている。

クロード・ドビッシー (1862—1919)

## III a. 水の反映

小川、渓、大河さては木の葉に宿る露の様々の水の姿とその水に映る影を巧みに描いたものである。

### b. 西風の見しもの

夜明の蒼白い微光を横ぎって去って行く幻影、夜の恐怖、海の怒る声の中を苦しい叫び声が聞こえる。

### c. アナカブリの丘

ナポリの丘の晴れやかなまぼろし、甘い恋の唄、青空に消え行く憂愁を追う人の心も又あわれである。

ヨハネス・ブラームス (1833—1898)

## IV a. 愛の歌

1877年にルードヴィヒ・ヘルティの詩に作曲された、ブラームスの歌曲のうちの傑作として広く知られている名曲である。鳥の歌も美しかった昔の恋の美しさ、喜び、嘆きを思い出しつつも永久に変ることのない愛を願う歌ある。

### b. 鍛冶屋

有名なローマン派詩人、愛の旅より約20年後に、ウーラントの詩に作曲したもの、単調なリズムと広く跳躍する音程によって描写される金槌の音に合せて若い娘が、勇しく槌をふるって働いている鍛冶屋の恋の様子を歌うのである。

anton dvořák (1841—1904)

### c. 母の教え給し歌

詩はボヘミアの詩人アドルフ・ヘイドウークの作である。老いし母が涙して教え給うた歌を今わが子に教える時、自分の眼にも涙が流れて来る。その懐旧の情と母への敬愛の念が緩やかな冥想的なテンポで歌い出されている。

peter illich chaykovsky

### d. なぞで (1840—1893)

ハイネの詩に作曲されたもので捨てられた恋の嘆きの深い悲しみを色あせた薔薇によせて歌ったものである。

### e. 強いられし花嫁

露けき牧場の草の葉のように、又森に搖ぐ月桂の木のように可憐に、大切に育てられた乙女が白ひげの恩知らずの男の妻となるその嘆き、その重い心が劇的に表現されている。

装 洋 店

ラ・セー ヌ

TEL 3654

神戸・太丸前

ジャコモ プッチーニ (1858—1924)  
V a. このやわらかなレースの中で  
マノンレスコより

第二幕、恋人デ・グリューから引きはなされてパリの好色な貴族、ジェロントの妾となったマノンは、贅沢なやわらかなレースの中に住みながらもかっての愛人との貧しい生活をなつかしんで歌うのである。

b. 歌に生き恋に生き……トスカより

トスカの愛人である画家カヴァラドッシは脱囚の友人をかくまったく罪で警視総監のスカルピア男爵より絞罪に処せられることになる。狡猾なスカルピアはかねてねらっていたマノンを己がものにしようと捕えるが(第二幕)ここでマノンはカヴァラドッシの助命をスカルピアに乞いながらこの美しく哀れな熱情的なアリアを歌うのである。

ジュセペ ヴェルディ (1813—1901)

c. 勝ちて帰れ……アイーダより

第一幕、エチオピア王女アイーダは敵国エジプトに捕えられ官廷の奴隸となるが、そこで若い兵士ラダメスと愛し合うようになる。その時エチオピア軍が攻め進んで来たとの報せに、ラダメスは指揮官に任せられ軍隊を率いて出発する。後に一人残されたアイーダは恋人に勝ちて帰れと祈りつつもその勝利は自分の父、自分の故国の破滅になることを思いその激しい心の苦悶に苦しむのである。

フレデリック ショパン (1810—1849)

VI a. 練習曲 作品 10の3

ショパンは25の練習曲を書いたがそれらは技術の練習と云うよりは、情緒表現の練習と云うべきで、その一つ一つが皆立派な芸術品である。作品10の3番は一般に"別れの曲"として親しまれているすばらしいメロディーの練習曲である。しかし和声の方面でもクライマックスに到る部分の和声

の使い方はロマン主義音楽より近代音楽への暗示を含んでいることが注目される。

b. 華麗なるワルツ 変イ長調 作品34の1

この曲に対してシューマンは、"舞踏会で即興的に作られたような曲"と云ったと云われているが、その題名のように華やかなリズムに富んでいるがその底に愁いの影がひそんでいるのがこの曲の魅力となっている。特に終結部の美しさは圧倒的である。

c. ワルツ 変ニ長調 作品 64の1

これは「小犬のワルツ」と広く知られている。ジョルジュ・サンドの犬が自分の尻尾を追ってくる廻っている有様を見てショパンが面白がって書いたと云われているが、極めて軽快な曲である。そのトリオの甘美なメロディーは主部と効果的な対照をなしている。

d. ノクターン 作品 15の2

ショパンはノクターンの形式により全く彼独特的美しい音楽の世界を開拓したのであった。作品15の第2番もデリケートな情趣を書き出すメロディーの美しさはショパンならではのものである。曲は三部形式で、展開部の東洋的な曲想、又は終りに表われる静かに流れおちる滝のようなアルペジオの美しさはショパンの特徴をよく表わしている。

e. スケルツオ 第2番 変ロ短調

スケルツオは"たわむれ"を意味するが、ショパンはスケルツオの形で、彼の怒り、絶望等を戯画的に表現した深刻な芸術を作りあげたのであった。1837年に書かれたこの第2番のスケルツオは、自由なソナタ形式で、展開部の前にトリオインテルメツツオという部分が挿入されている。この部分は"深いあこがれとうたがいに充ちている"と云われているロマンティックな所であるが、終結部では、力強く、このうたがいや、憂愁を退けてしまう。

河合ピアノ



堅型 K2型 88鍵 ¥ 160,000

月賦は5回、10回、20回払が御座居ます  
カタログ進呈

三木樂器

神戸支店 元町三

TEL ⑧ 0670・8631

河合ピアノ



大阪・高麗橋

三越

神戸・元町